

第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025の 協賛契約を締結しました！

～大会の成功と共生社会の実現に貢献していきます～



東京地下鉄株式会社(本社:東京都台東区、代表取締役社長:山村 明義、以下「東京メトロ」)は、このたび、公益財団法人東京都スポーツ文化事業団と第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025の協賛契約(協賛カテゴリー:トータルサポートメンバー)を締結しました。

当社は「東京を走らせる力」というグループ理念を掲げ、全てのお客様に安心して便利に地下鉄をご利用いただくため、鉄道施設のバリアフリー化に取り組んでおります。地上の出入口とホーム及び通路のスムーズな行き来のためのエレベーターやエスカレーターの整備をはじめ、車いす等をご利用のお客様が乗降しやすいよう、ホームと車両の隙間を小さくする可動ステップや転落防止ゴムを整備しています。また、聴覚障がいのある方への情報提供の充実を図るため、駅構内のアナウンスの音声が多言語で文字表示できる「みえるアナウンス」を2025年4月以降、東京メトロ全駅へ導入いたします。

障がいのある方々が自らの能力を最大限に発揮し、社会に貢献できることを示す素晴らしい機会の一つとなる本大会の成功に向け、首都東京の都市機能を支える旅客鉄道事業者として、交通の面からのサポートはもちろん、本大会の機運醸成に向けた取組みも通じて、共生社会の実現に貢献してまいります。

当社における共生社会の実現に向けた主な取組みの詳細は別紙のとおりです。



みえるアナウンスの導入



可動ステップの設置



視覚に障害のある学生向け
鉄道施設体験会の実施

東京メトロにおける共生社会の実現に向けた主な取組み 詳細

1. 東京メトロ全駅(※)で「みえるアナウンス」を導入

聴覚障がいのある方や増加する訪日外国人旅行者など多様なお客様への情報提供の充実を図るため、駅構内のアナウンスの音声を多言語で文字表示できる「みえるアナウンス」を本導入し、2025年4月以降、東京メトロ全駅へ展開します。詳細につきましては、以下URLを参照ください。

(2024年10月31日付ニュースリリース <https://www.tokyometro.jp/news/2024/219381.html>)



※ 他社への管理委託駅(日比谷線北千住駅、中目黒駅、中野計、西船橋駅、代々木上原駅、和光市駅、半蔵門線・副都心線渋谷駅、目黒駅)を除く171 駅

2. ホームと車両床面の段差・隙間縮小の整備

車いす等をご利用のお客様が乗降しやすいよう、各列車の車いすスペース・フリースペースのある車両扉の乗降口において、プラットフォームの嵩上げ、車両床面の低床化及びプラットフォーム先端部へのくし状ゴムを整備するほか、曲線ホームでホームと車両の隙間が大きい箇所には可動ステップを整備することにより、可能な限りプラットフォームと車両床面の段差・隙間の縮小を進めております。詳細につきましては、以下URLを参照ください。

(<https://www.tokyometro.jp/safety/barrierfree/barrierfree7/index.html>)



可動ステップ(張り出し時)



転落防止ゴム

3. 視覚に障害のある学生向け「鉄道施設体験会」の実施

東京メトロと沿線の盲学校が連携し、東京メトロ総合研修訓練センターにある模擬ホームなどを活用し、生徒たちが線路の幅や、レールの形状、ホームの高さなどに触れて駅設備の仕組みを学ぶ体験会を継続的に実施しています。



4. お問い合わせ先

東京メトロお客様センター <https://www.tokyometro.jp/support/index.html>

以上

【参考】

●大会概要

デフリンピックとは、デフ+オリンピックのことで、デフ(Deaf)とは、英語で「耳がきこえない」という意味です。デフリンピックは国際ろう者スポーツ委員会が主催し、4年毎に開催されるデフアスリートを対象とした国際スポーツ大会です。(<https://deaflympics2025-games.jp/>)

- ・大会名称:第 25 回夏季デフリンピック競技大会 東京 2025
- ・大会期間:2025 年 11 月 15 日~11 月 26 日(12 日間)
- ・参加者数:各国選手団等約 6,000 人
- ・参加国:70~80 か国・地域
- ・大会会場:駒沢オリンピック公園総合運動場、東京体育館ほか